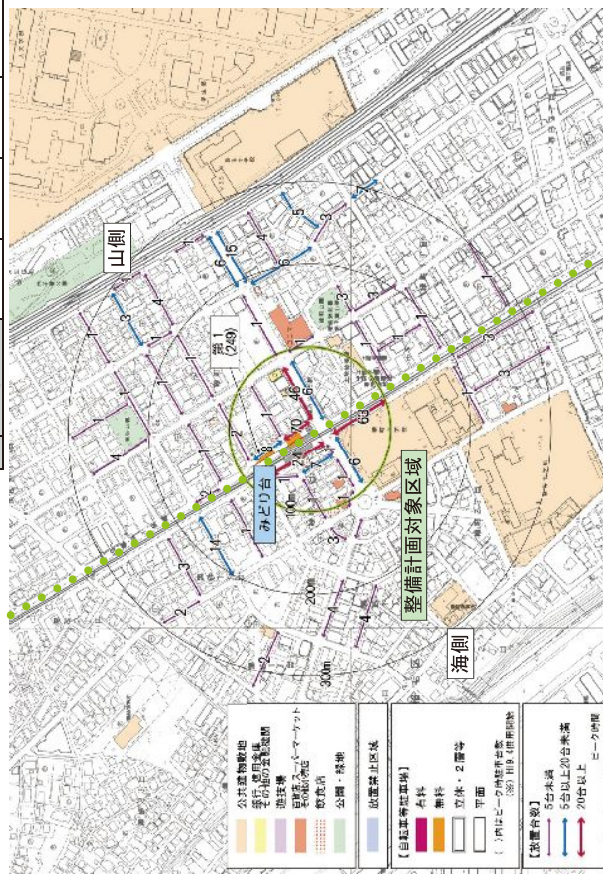


みどり台駅は、1日平均乗車人員は約3,200人、自転車等の乗入台数は486台である。
駐輪場は山側に1箇所設置しており、収容台数は180台となっている。

駐車台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数	
全体		駐車	放置	台数	
計	486	249	237	180	
自転車	481	248	233	179	
原付	5	1	4	1	

測定日：平成18年10月30日
図はピーク時の台数を示している。



海側	乗入台数	駐車台数	放置台数	収容台数
計	104	104	0	180
自転車	100	100	0	179
原付	4	4	0	1

参考データ	乗入台数	駐車台数	放置台数	収容台数
駅利用状況 京成	1日平均乗車人員(H17)	3,185人/日		
交通分担率 京成	歩行	83.6%	バス	15.2%
	自転車等	0.0%	タクシー	0.0%
	その他	0.2%		1.2%

【需要推計】
みどり台駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は481台と推計しており、現在の乗入台数を若干割り込む見込みとなっているが、現時点で収容台数が不足している。

計画期間(H27)の	全体	自転車	原付
伸び率	0.99	1.00	

海側では、収容台数が不足していることから、路上駐輪場を新設して対応する。
山側では、自転車の収容台数が不足していることから、第1駐輪場へのラック導入により対応する。
また、自転車等の放置の美観や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
計		486		486		—		487		180	
自転車		481		481		0.99		476		179	
原付		5		5		1.00		5		1	



海側	乗入台数	伸び率	推計台数	収容台数	不足台数
計	104	—	103	0	104
自転車	100	0.99	99	0	100
原付	4	1.06	4	0	4

◆整備内容		整備手法	台数		整備時期	主体	
駅口	駐輪場		現況(原付)	整備(原付)		用地	整備
海側	新設	路上駐輪場の整備	0	103	中期	市	市
	計		(0)	(4)		(4)	
山側	第1	ラックの導入(一部2段ラック)	180	198	中期	京成	市
	計		(1)	(0)			
計	計		180	198			
	計		(1)	(0)			
計	計		180	301			
	計		(1)	(4)			

西登戸駅は、1日平均乗車人員は約1,000人、自転車等の乗入台数は51台である。
駐輪場は山側に1箇所設置しており、収容台数は30台となっている。

駐車台数・放置台数		全体		ピーク時乗入台数		収容台数	
測定日：平成18年10月30日		計		51		25	
図はピーク時の台数を示している。		自転車		46		20	
		原付		5		5	
						0	

京成電鉄千葉線

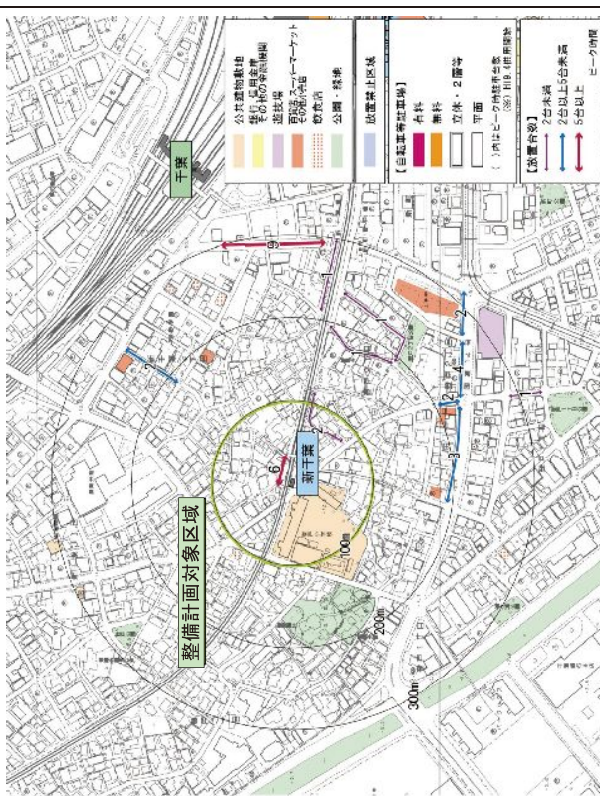
新千葉駅

【現況】

新千葉駅は、1日平均乗車人員は約500人、自転車等の乗入台数は僅かに8台である。

駐輪場は整備されていない。

駐車台数・放置台数	収容		
	全体	ピーク時乗入台数	放置
	計	8	8
	自転車	8	8
原付			
0			



◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	バス	タクシー	その他
京成	521人/日 (H18千葉市統計書)	0.0%	0.0%	4.1%
交通分担率 徒歩 96.9% 自転車等 0.0% (H10東京都市圏バーセントリッブ調査)				

【需要推計】

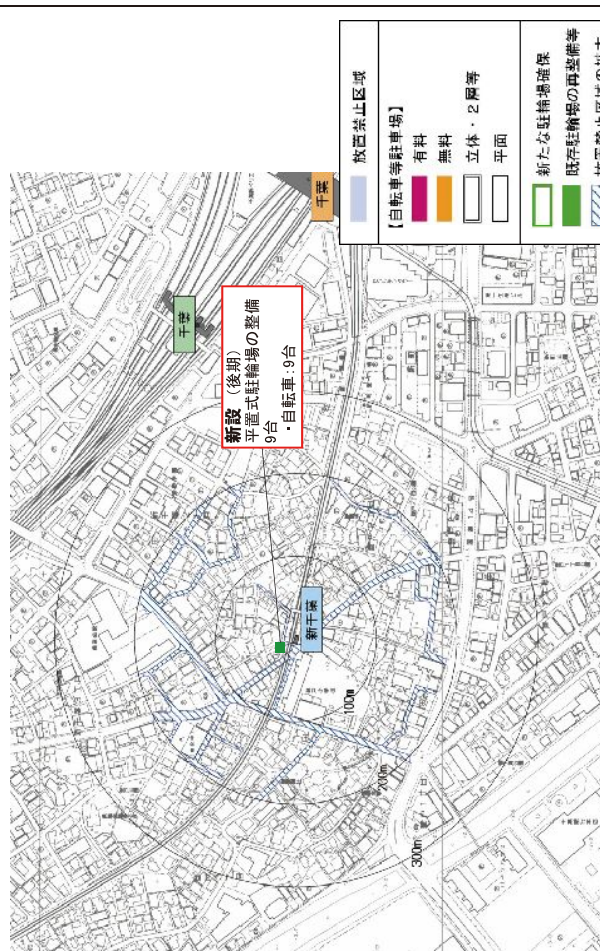
新千葉駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は9台と推計しており、現時点で収容台数が不足している。

計画期間(H27)の 伸び率	全体	自転車	原付
	1.16	1.00	

【整備計画】

収容台数が不足しているため、京成の用地を活用した平置き駐輪場を新設して対応する。
また、自転車等の放置の実態を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図					
全体	乗入 台数	伸び率	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	8	—	9	0	9
自転車	8	1.16	9	0	9
原付	0	1.00	0	0	0



◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数			主体		
			現況(原付)	整備(原付)	計(原付)	用地	整備	運営
新設	平置き駐輪場の整備		0	9	9	京成	市	市
計			0	9	9			

※主体欄 市:千葉市、JR:JR東日本 京成:京成電鉄 モノ:千葉都市モノレール 民:個人または民間事業者

※整備時期欄 前期:H20～22 中期:H23～25 後期:H26・27

千葉中央駅・霞川公園駅

【現況】

千葉中央駅は、1日平均乗車人員は約7,000人、自転車等の乗入台数は460台である。なお、霞川公園駅の1日平均乗車人員は637人となっている。

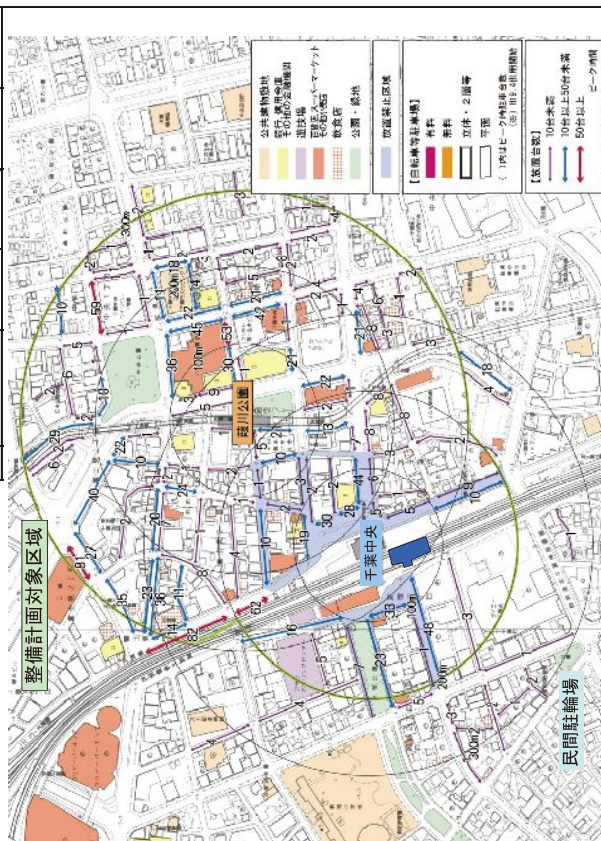
いずれの駅周辺にも市の駐輪場は整備されていないが、千葉中央駅周辺に民設民営の駐輪場が1箇所ある。

駐車台数・放置台数

測定日：平成18年10月30日

図はピーク時の台数を示している。

全体 (千葉中央駅周辺)	ピーク時乗入台数		収容 台数
	駐車	放置	
	計	計	
	460	460	60
	自転車	416	0
	原付	44	60



海側	乗入 台数		駐車 台数	放置 台数	収容 台数
	計	自転車			
	136	127	136	10	50
	自転車	127	0	289	0
	原付	9	10	35	50

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)		バス 乗車率	タクシー 乗車率	その他 乗車率
	京成	モレール			
	6,940人/日	637人/日	95.2%	2.2%	0.8%

(H18千葉市統計書)

(H10東京都市圏バーン・ソートリブ調査)

【需要推計】

千葉中央駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は520台と推計している。駅周辺には収容台数300台程度の民間駐輪場が1箇所設置されているが、現時点で、駅周辺の乗り入れに対応した収容台数は確保していない。

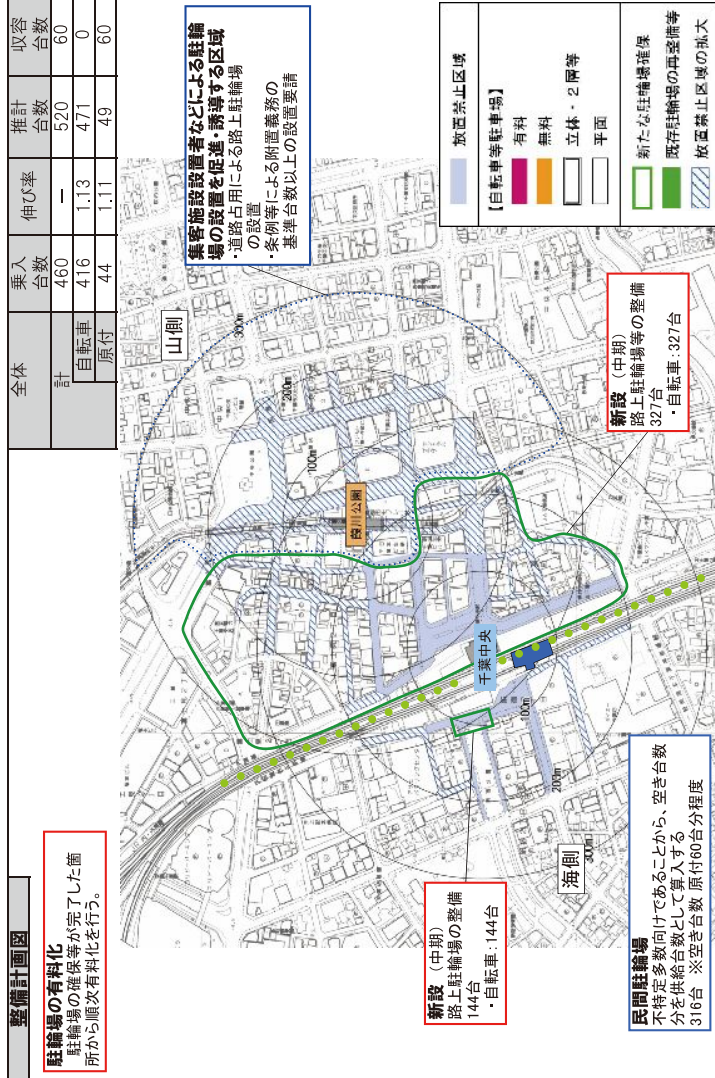
霞川公園駅周辺では、駅周辺よりもむしろ商業施設等の周辺道路への放置が多いことから、一部の区域を除き、集客施設の利用者に対する駐輪場の設置を要請し、市は駐輪場整備は行わないものとする。

計画期間(H27)の 伸び率	全体		自転車	原付
	1.13	1.11		

【整備計画】

海側、山側とも、自転車の収容台数の不足が見込まれるため、路上駐輪場の整備の時期を踏まえて放置禁止区域を拡大する。

また、集客施設等が多数立地している霞川公園駅の東側の区域では、施設設置者などによる駐輪場の設置を促進または誘導して対応する。



海側	乗入 台数		駐車 台数	放置 台数	収容 台数
	計	自転車			
	136	127	136	10	144
	自転車	127	0	144	0
	原付	9	10	10	10

◆整備内容

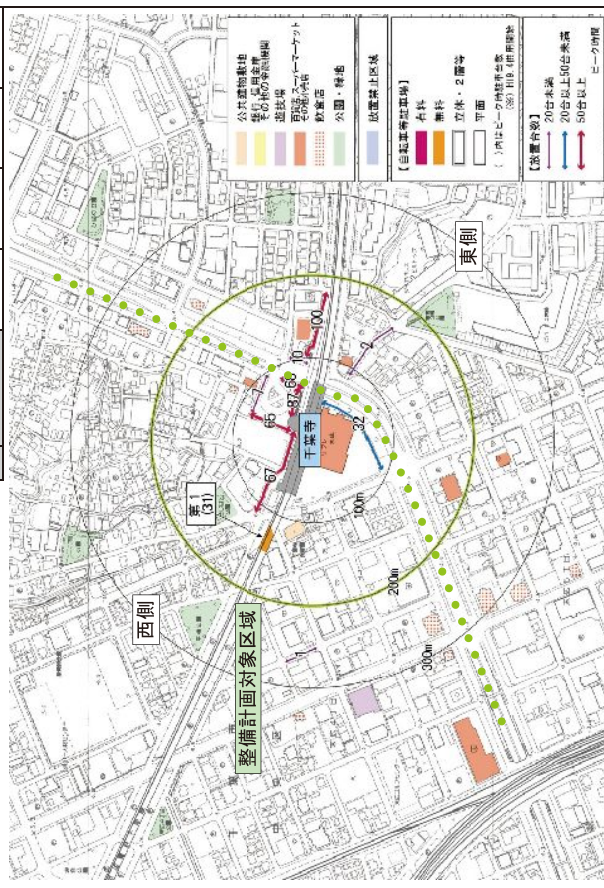
駅	駐輪場	整備手法		現況(原付)	整備(原付)	計(原付)	整備 時期	主体 用地	運営 主体
		路上駐輪場の整備	民間(京成関連)駐輪場の収容台数に算入						
		民間	民間						
海側	新設	144台	0	10	144	144	中期	市	市
山側	新設	327台	0	10	327	327	中期	市	市
計		471	0	20	471	471			

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モレール 民：個人または民間事業者

※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27

千葉寺駅は、1日平均乗車人員は約1,700人、自転車等の乗入台数は469台である。
駐輪場は海側に1箇所設置しており、収容台数は180台となっている。

駐車台数・放置台数		ピーク時乗入台数		全体		収容	
測定日：平成18年10月30日 図はピーク時の台数を示している。	図	駐車	放置	計	自転車	原付	台数



西側		東側		全体		収容	
計	自転車	放置	台数	計	自転車	放置	台数

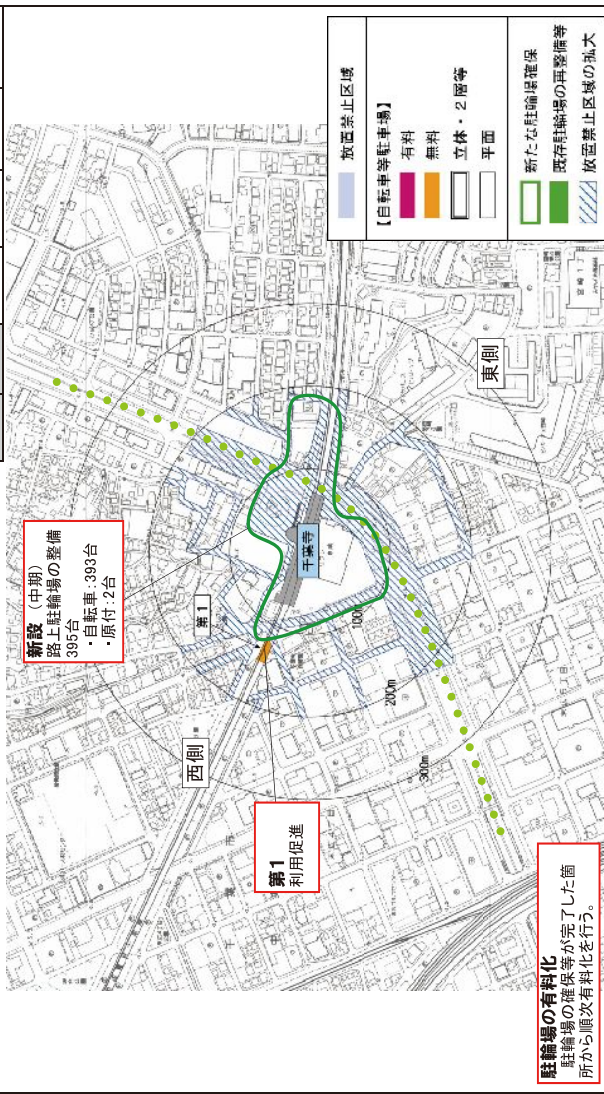
参考データ		交通分担率		バス		タクシー		その他	
駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	京成	1,714人/日	京成	71.0%	徒歩	19.5%	(H10 東京都圏バーストップ調査)	3.4%

【需要推計】
千葉寺駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は575台と推計しており、現在の収容台数180台から約400台不足している。

計画期間(H27)の		全体		自転車		原付	
計画期間(H27)の	伸び率	計	伸び率	計	伸び率	計	伸び率

西側、東側とも収容台数が不足しているため、路上駐輪場を新設して対応する。
また、自転車等の放置の実態や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図		全体		乗入		伸び率		推計		収容	
整備計画図	図	計	自転車	計	自転車	計	伸び率	計	伸び率	計	台数



西側		東側		全体		収容	
計	自転車	放置	台数	計	自転車	放置	台数

参考データ		交通分担率		バス		タクシー		その他	
駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	京成	1,714人/日	京成	71.0%	徒歩	19.5%	(H10 東京都圏バーストップ調査)	3.4%

【需要推計】
千葉寺駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は575台と推計しており、現在の収容台数180台から約400台不足している。

計画期間(H27)の		全体		自転車		原付	
計画期間(H27)の	伸び率	計	伸び率	計	伸び率	計	伸び率

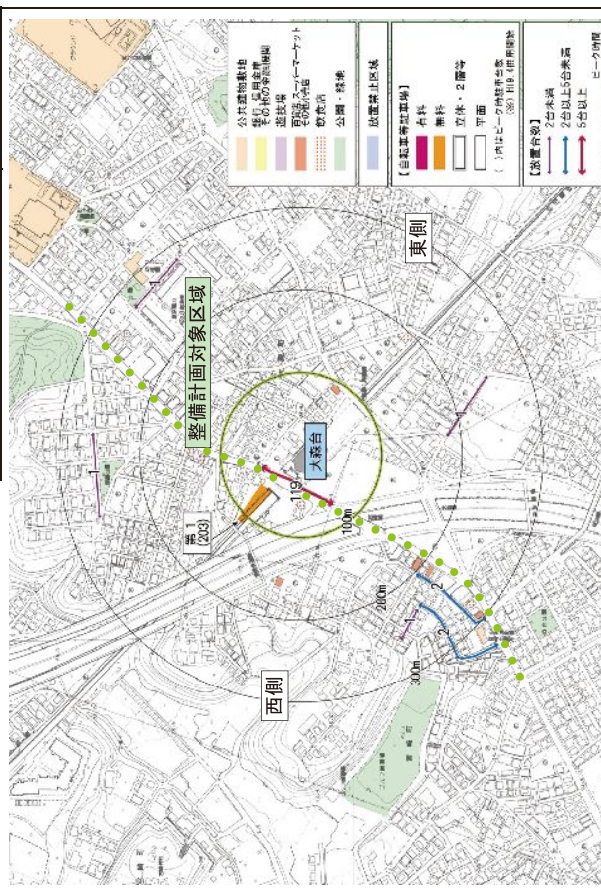
大森台駅

【現況】

大森台駅は、1日平均乗車人員は約1,300人、自転車等の乗入台数は322台である。
駐輪場は海側に1箇所設置しており、収容台数は380台となっている。

駐車台数・放置台数
 測定日：平成18年10月30日
 図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数		収容
	駐車	放置	台数
計	322	203	380
自転車	310	192	359
原付	12	11	21



西側	乗入 台数	収容		乗入 台数	東側	計	収容	
		駐車	放置				駐車	放置
計	203	0	380	119			119	0
自転車	192	192	359	118			118	0
原付	11	11	21	1			1	0

◆参考丁一タ	1日平均乗車人員(H17)
駅利用状況	京成 1,313人/日

(H18千葉市統計書)

交通分担率	徒歩	自転車等	バス	タクシー	その他
京成	73.8%	19.8%	0.8%	0.0%	5.6%

(H10 東京都圏パーセントリッパ調査)

【需要推計】

大森台駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は326台と推計しており、東側で収容台数の不足が見込まれるが、西側の駐輪場の収容台数により全体としては充足している。

計画期間(H27)の 伸び率	全体	自転車	原付
		101	108

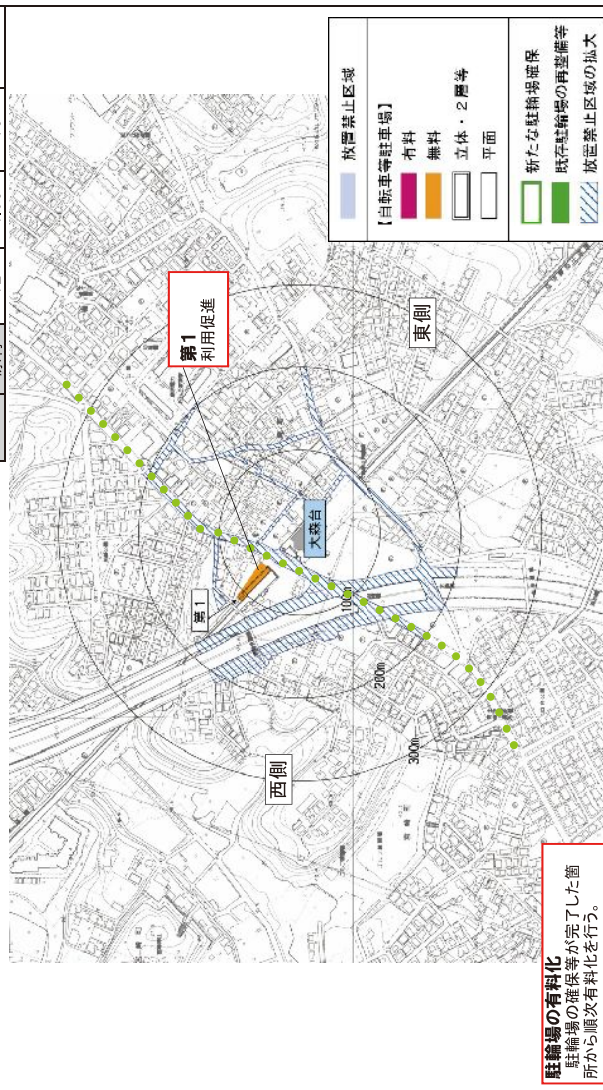
【畫畫】

西側では、収容台数の不足を見込んでいないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。

東側では、収容台数が不足していることから、西側の第1駐輪場に自転車等の利用者を誘導し対応する。

また、自転車等の放置の実態や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図					
	全体	乗入 台数	伸び率	推計 台数	収容 台数
	計	322	—	326	380
	自転車	310	1.01	313	359
	肩付	12	1.08	13	21



西側	乗入 台数	伸び率	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	202	—	206	380	—
自転車	192	1.01	194	359	—
原付	11	1.13	12	21	—

東側	乗入 台数	伸び率	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	119	—	120	0	119
自転車	118	1.01	119	0	119
原付	1	1.13	1	0	1

◆ 駅口	◆ 整備内容	駐輪場	整備手法	台数			整備時期	主体	
				現況(原付)	整備(原付)	計(原付)		用地	整備
第1	(増設)			380	(21)	380	(21)	—	市
				380	(21)	0	(0)		
	計			380	(21)	380	(21)		市

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者

※整備時期欄 前期:H20～22 中期:H23～25 後期:H26・27

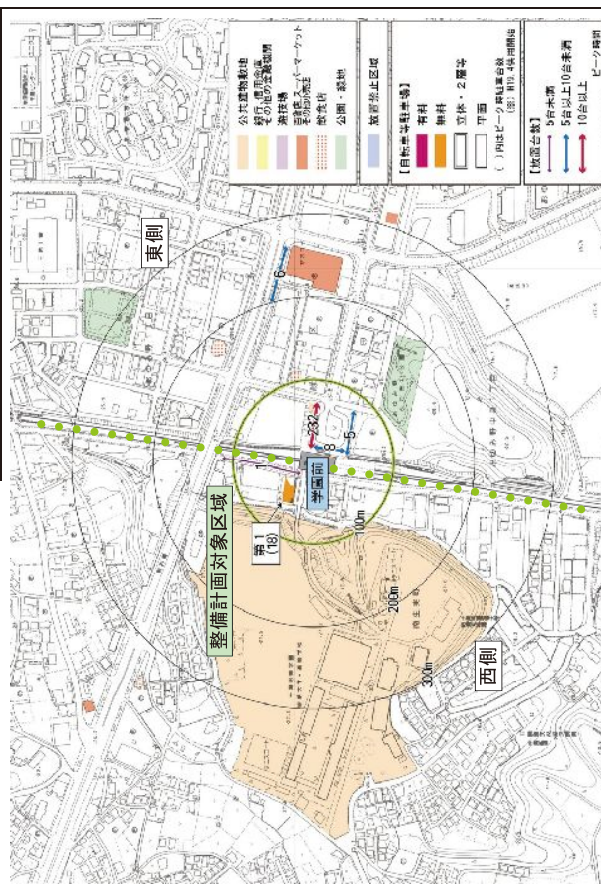
学園前駅

【現況】

学園前駅は、1日平均乗車人員は約2,000人、自転車等の乗入台数は264台である。
駐輪場は西側に1箇所設置しており、収容台数は179台となっている。

駐車台数・放置台数
 測定日：平成18年10月30日
 図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数		収容台数
	駐車	放置	
計	264	179	
自駐車	256	239	169
原付	8	7	10



	西側	乗入		収容	
		台数	駐車	放置	台数
計	19	18	1	179	
自転車	18	17	1	169	
原付	1	1	0	10	

	東側	乗入		収容	
		台数	駐車	放置	台数
計	245	245	245	0	
自転車	238		238	0	
原付	7		7	0	

乗用カー	多写機	京成	1,982人/日	京成	88.7%	4.3%	0.0%	0.0%	7.0%
乗用カー	多写機	京成	1,982人/日	京成	88.7%	4.3%	0.0%	0.0%	7.0%

【需要推計】

学園前駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は342台と推計しており、東側で収容台数の不足を見込んでいる。

計画期間(H27)の 伸び率	全体	自転車	原付
		1.30	1.25

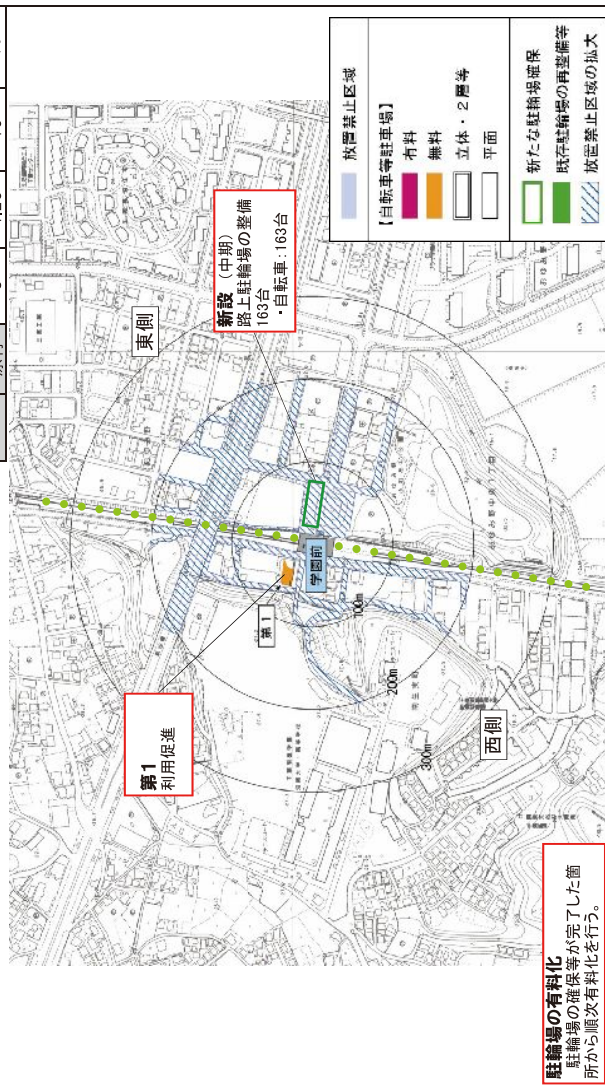
【畫題】

西側では、収容台数の不足を見込まないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。

東側では、収容台数が不足していることから、路上駐輪場を新設するほか、西側の第1駐輪場へ自転車等の利用者を誘導して対応する。

また、自転車等の放置の実態や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図					
全体	乗入 台数	264	伸縮率 —	推計 台数	収容 台数
	計	266	1.30	342	179
	自転車	256	1.30	332	169
	原付	8	1.29	10	10



西側	乗入 台数	伸び率	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	19	—	24	179	—
自転車	18	1.30	23	169	—
原付	1	1.22	1	10	—

東側	乗入 台数	伸び率	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	245	—	318	0	318
自転車	238	1.30	309	0	309
原付	7	1.22	9	0	9

◆整備内容

駅口	駐編場	整備手法	台数			整備時期	主体	
			現況(原付)	整備(原付)	計(原付)		用地	整備
西側	第1	(仮設)	179	(10)	179	(10)	市	市
	計		179	(10)	179	(10)		
東側	新設	路上駐輪場の整備	0	(0)	163	(0)	市	市
	計		0	(0)	163	(0)		
駅前	駐編場		179	(10)	163	(0)		
計	計		179	(10)	342	(10)		

※主体欄 市:千葉市、JR:JR東日本 京成:京成電鉄 モノ:千葉都市モノール 民:個人または民間事業者

※整備時期欄 前期:H20～22 中期:H23～25 後期:H26・27